**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　3　回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 開催日時 | 令和２年　9月　7日　　１４時００分　～　１５時００分 |
| 会場 | グループホーム花乃苑 |
| 参加者 | 利用者代表 | 1人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | ０人 |
| 高齢者お世話センター | ０人 |
| 市職員 | ０人 |
| 他事業所 | ０人 |
| 有識者 | ０人 |
| 事業者 | ４人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 1. 現状報告

**新型コロナウィルス感染症による感染予防のため、自施設のみでの開催。**２．入居者数　男性６名　女性１２名　《要介護別》　要介護１（３名）要介護２（６名）　要介護３（7名）　　　　　　　　要介護４（2名）要介護５（0名）　３．入・退居者　7/30　退居　介護4女性　　　　　　　　　8/1　 入居 介護3女性４．活動内容　　　　　　　　　　お誕生会　※阿南市内でのコロナ感染拡大や猛暑のため外出行事は控えています。　　　 |
|  |
| 議題① | **「新型コロナウィルス感染症について」**・８月に入りデイサービス事業所、医療機関、カラオケ喫茶利用客等、阿南市内での感染報告が続いている。徳島市内でも介護施設や医療機関での感染が発生している。まずは、職員が感染予防対策を徹底し、職場にウィルスを持ち込まないよう、感染拡大を予防できるよう文書も配布し周知を図る。・手すり、ドアノブ、トイレ等、共有設備の消毒をこまめに行う。・換気をこまめに行う。(面会について)３月より面会の制限を行っているがコロナの終息は未だ見えず、入居者様・ご家族様にとっては会えないことによる不安やストレスが大きいと思われる。しかしながら、グループホームという施設の性質上ウィルスの侵入はできる限り防ぎたい。認知症のため病気に対する自覚が乏しく、症状があっても自室にて静養することが難しい。過去には風邪や胃腸炎、インフルに感染した一人の入居者様から数人に感染が広がったことがあった。その旨、ご家族様にもご理解をいただき、現段階では電話での交流や屋外(ウッドデッキ越しにソーシャルディスタンスを保って)での面会をお願いしている。　　　 |
| 議　題② | **「身体拘束等適正化対策検討委員会」**新規入居者様が入居当初、落ち着かず夜間も不眠・不穏状態がみられた。ご家族様に了承を得て、夜間に離床センサーマット使用させていただいた。数日間使用しながら様子をみたが、非常に音に敏感で職員が他者を介助する声や足音にも目覚めてしまい居室から出てくることが多かった。センサーが反応することで職員が居室を訪問することが頻回になると、余計に落ち着かず興奮状態となり不眠の原因になっていた。当該入居者様は歩行状態に問題はなく転倒のリスクは低いと判断。ご家族に状況を説明し、センサー使用を中止にした。以後、職員による見守りが減りストレスが軽減したこと、施設の生活にも慣れてきたこともあり、夜間良眠ができるようになった。今回は入居者様の安全を守るためにと使用したセンサーマットが結果的には行動を制限したり不安や不眠を招くことになってしまった。便利な介護用品も時には利用者様の行動を抑制してしまう道具になり得る事を理解し、使用については慎重に検討してから開始するようにしたい。 |